



島根県知的障害者施設保護者会連合会 会報

# 大 輪

発行：島根県社会福祉協議会内  
島根県知的障害者施設保護者会連合会  
松江市東津田町 1741-3  
いきいきプラザ島根 5階  
TEL 0852-32-5976 FAX 0852-32-5982

50周年特別号  
令和6年10月発行

## これまでの50年 これからの50年

島根県知的障害者施設保護者会連合会

会長 福間 廣明



昭和49年10月、島根県知的障害者施設保護者会連合会は誕生し、本年度で設立50周年を迎えることができました。これまで私たちの活動を支えていただいた多くの皆様に心からお礼申し上げます。

当会は、「知的障がいのある人たちの生活と権利を守る」という使命から島根県内の家族会・保護者会の方々のご努力で設立されました。

当時は、知的障がいのある方を精神薄弱者と称していました。このことから設立時は「島根県精神薄弱者施設保護者会連合会」となっており、呼び方が変わったのは平成10年に法律の名称が「精神薄弱者福祉法」から「知的障害者福祉法」に改められてからのことでもあります。

知的障がいのある方をとりまく環境は「知的障害者福祉法」による措置制度から平成18年の「障害者自立支援法」さらには平成25年の「障害者総合支援法」による契約制度などに変わり、これにより活動内容も変わってきております。

半世紀にわたる道のりは決して順風満帆ではなかったかとは思いますが、会員の皆様のご努力で一定の成果を出しながら今日を迎えることができました。

これからの50年、私たちの想いは、知的障がいを持つ「我が子、兄弟姉妹」が障がいのあるなしで差別されることなく安心して暮らしていける社会の実現であります。引き続き組織を充実させ活動を続けなければと考えております。

## 設立 50 周年によせて

一般社団法人 全国知的障害者施設家族会連合会  
前理事長 由岐 透



島根県知的障害者施設保護者会連合会の設立 50 周年を迎え心からお喜び申し上げます。

この間、日本の障害福祉は障害者基礎構造改革、社会事業法が改正され、日本の障害福祉制度を支えてきた措置制度を質的に変換し、契約制度としました。支援費制度に移行し、障害者自立支援法が公布され、2012 年には障害者総合支援法が成立し、3 年毎に見直すことになりました。障害者権利条約締結など大きな変化を迫られる事態に何度も直面してきました。

知的障害のある人達が親・家族が亡き後も安心して暮らせる社会の実現に向けた取り組みを推進している、貴会の果たす役割は誠に大きなものがあり、今後の一層の活躍に期待申し上げます。

## 設立 50 周年によせて

社会福祉法人 島根県社会福祉協議会  
会長 小林 淳一



この度は、島根県知的障害者施設保護者会連合会の設立から 50 周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

本県において、初めて知的障害者支援施設の前身である精神薄弱者更生施設が開設されたのが昭和 44 年、それからほどなく貴会を設立されました。

設立以降、施設利用者等が、地域において尊厳と権利を守られながらあたりまえに幸せに暮らしていける社会の実現を目指し、様々な事業を展開し、活動されてきたことに心から敬意を表します。

これからも、貴会のますますのご発展を祈念し結びの言葉とさせていただきます。

## 島根県知的障害者施設保護者会連合会設立五十周年によせて

島根県知的障害者福祉協会  
会長 室崎 富恵



このたび、島根県知的障害者施設保護者会連合会の 50 周年を記念して、「50 周年大輪特別号」が発行されますことを、心よりお祝い申し上げます。

貴会は、昭和 49 年の設立以来、半世紀の長きにわたり島根県内の知的障害児（者）施設の利用者及びグループホーム等入居者が地域の中で尊厳と権利を守りながら自分らしく暮らしていける社会の実現に向けて尽力してこられました。

障害者福祉を取り巻く環境は大きく変化しましたが、常に時代の要請に応え、権利擁護と生活の質の向上に取り組んでこられ、その成果は、多くの方々の努力と強い絆によって実現されたものであります。

最後になりましたが、貴会の益々の発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

## 「運動継続の大切さを・・・」

島根県知的障害者施設保護者会連合会  
元会長 岡崎 茂喜



島根における施設保護者会連合会が設立五十周年を迎えるという。立ち上げは、障害のある我が子の万一の時や医療・福祉をフォローしていこうとする互助の精神が目的であった。

そして互助会をスタートさせ運営していく中で、同じような形態の三重県、熊本県の三県で他の県にも呼び掛けて全国組織を作ろうではないかと協議がなされた。この三県に兵庫県、長野県が加わって全国に呼びかけられ、平成十七年に「全施連」と「全国互助会連合会」が別々に結成されたのである。

この経過の中で本来は保護者会組織と互助会は一体のものとして運営するのがベストであった。しかし、金融庁から“待った”がかかり、保護者会組織と互助会は各県切り離さなければならない状況となり、保護者会は別組織にならざるを得なくなった。その裏には外国の保険資本の強大な圧力が日本政府に加えられていたのである。

島根はどうするかと当時の山根基会長、他役員で種々協議が重ねられ、何としても独自で運営していこうということになり金融庁との本当に度重なる折衝を繰り返して、ついに保護者会と互助会の二本立て運営を勝ち取ったのである。保護者会はそのまま全施連に加入しながら今日まで活動が継続されているし、互助会は独自の県として運営がなされている。

立ち上げる苦勞、産む苦しみもさることながら、継続して運営されている姿を見る時全施連・互助会の必要性と、役員の皆様のご苦勞、更には県社協の変わらざるご尽力に深い感謝の念を覚えるのである。「継続は力なり。」という。ここが故郷であると思う入所されている皆さんのためにも是非引き続いて頑張りたいと念じつつ・・・。

## 全施連第5回全国大会(島根大会)の思い出

島根県知的障害者施設保護者会連合会  
前会長 山根 良雄



小生が連合会の運営委員に就任して間もなく、全国知的障害者施設家族会連合会の第5回全国大会が、平成21年9月に地元松江市にて開催されました。

当時は障害者自立支援法の廃止・凍結、抜本見直し等を求めて全国の仲間とともに活動を推進している時期にあり、会場の松江東急イン・松江テルサに約300名の参加者のもと、記念講演、公開座談会、全員参加型討論会など二日間に亘って熱気ある討論がなされ、最後に大会決議の採択を行い記念すべき大会を終えました。

地元の大会であり、連合会の運動の必要性や活動のあり方を新たな観点から共有するものでしたが、小生が大会決議(案)の提案説明を担当し満場の拍手で採択を戴いたときは、感無量のものがあり、全国の仲間の皆さんと大会のテーマであった「知的障害者の尊厳ある暮らしを考える」を踏まえ、今後の諸活動に努めたいと決意をあらたにした大会でありました。

\*\*\*各保護者会（家族会）からの寄稿\*\*\*

希望の園保護者会（松江市） 佐藤 洋子



この度は、保護者会連合会五十周年おめでとうございます。

三年間のコロナ禍でも、歩みを止めず活動していただき、心強く思っております。

希望の園保護者会でも、昨年末から保護者との交流を再開し、懇親会を開きました。久しぶりに会えた喜びで話も弾み、職員の方々から子ども達の園での生活ぶりを聞くにつけ限られた環境の中でサポートしていただきながら皆と仲良く、自分なりに楽しみを見つけて生活しているのだと、その姿が目につかび感謝のひとつときでした。そして、その姿は、親の願いです。これからも、子供たちの幸せを願って希望の園保護者会も歩みを進めてまいります。



しののめ寮保護者会（松江市） 河野 良二



50周年を迎え、大輪特別号刊行にあたりこれまでの歩みを振り返ってみました。

一番印象に残っているのは「しののめ寮施設見学」です。しののめ寮は平成18年に松江市学園より宍道町へ移りました。全室個室で当時は珍しかったようです。しののめ寮保護者会としては、会員の皆さんをお迎えするべく、施設への相談や調整など事前の準備に役員一丸となって勤しみ、無事に当日の見学を終えることができました。会員の皆さんをお見送りし、役員皆で労いあったことが思い出されます。



千鳥福祉会家族会（松江市） 青山 喜一



この度は、「50周年大輪特別号」発刊おめでとうございます。

保護者会連合会へ参加させていただき、良き思い出は2つあります。

1つは、玉湯町の「まがたま家族会」への施設見学です。正副会長3名で参加して、施設長から施設と事業の丁寧な説明をいただき、その後、「施設見学」を楽しみました。

もう1つは、昨年実施の出雲市民会館での、「研修会」です。千鳥福祉会家族会からは、施設側も含め、10名参加させていただき、講演者への質疑応答でも2名の質問も出て、講演のテーマを印象づけました。

日頃の家族会の活動での抱える問題点や疑問点について、「施設見学」と「研修会」の場は、その問題解決に欠かせない事業といえます。

今後、更なる充実を願い更なる発展を祈念します。



### はばたき家族会（松江市） 石倉 悟

私たち家族（夫婦と男児3人）が長男を『松江学園（はばたき）』に入所させたのは、彼が養護学校小学部3年生のときです。父親の私に重度の身体障害（車いす使用1級）があり、弟たちが幼く、母親である妻も仕事に出にくかったという事情がありました。まだ、私の母親が元気で「自分が長男の面倒を見るから施設には入れない」と言っていたので、私は通所型の障がい者の作業所に働きに出ていました。長男も祖母の送り迎えで毎日元気に養護学校に通っていました。

ある日、私の母が「体調が悪いから病院に行ってみる」と言いました。自分で運転をして検査に出かけました。結果は『末期ガン』で手の施しようがないということでした。母は非常に小柄（身長140cm弱、体重も20kgに満たない）で、体力がなく手術もできないというものでした。母に加え父も寝たきりで入院していました。仕事の後の毎日の病院通いでは私の体がもたないということになり、妻の実家や私の親戚とも協議し、『中央児童相談所』に相談した結果、『松江学園（はばたき）』に入所させていただくことになりました。

最初のうちは、彼が施設に慣れてくれるか心配でしたが、職員のみなさんの適切なお指導と適切な栄養管理のおかげもあって入所時80kg以上あり、肥満だった彼が一年後には見違えるようにスリムになり、適正体重の少年になりました。私たち家族も家族会の仲間に入れていただき、同世代のお子さんのいらっしゃる家族の方たちと交流することができ、救われた面もありました。最近では家族会役員の末席に加えていただき、出席できる限り参加させていただいております。『連合会』が50周年を迎えられるにあたり、私も微力ではございますが、ご協力させていただきたいと思っています。また、障がい当事者の皆さんにも明るい未来が開けてくれるよう希望します。



### まがたま家族会（松江市） 飯島 献一



島根県知的障害者施設保護者会連合会50周年おめでとうございます。

私の家族（娘）は現在施設にお世話になって10年になります。入所の年の記念式典で式典最中に歩き回る姿を制止することなく見守り、バンド演奏の最中にも歌おうとするとマイクを持たせていただいた振る舞いに、ここなら親から離れても過ごしていけると思いました。障害のあるひとをみるのではなく、障害のある人からみえる世界に寄り添っていく姿勢が感じられ、施設職員の皆様にはお世話、支援していただき感謝の気持ちでいっぱいです。

障害があっても、そのことをマイナスにとらえるのではなく、いいところを尊重して伸ばしてもらいたいと思っています。私たち家族も職員の皆様まかせにするのではなく、しっかり連携をとりながらかわりを持ち続けていきたいと思っています。

これからもどうぞよろしくお願ひ致します。



#### 四ツ葉園保護者会（松江市） 栗原 亨吉

島根県知的障害者施設保護者会連合会の設立 50 周年にあたり過去の活動を振り返ってみた。まず思い浮かぶのは、互助会のことである。互助会は、平成 6 年 10 月 1 日、次の目的をもって設立された。「この会は、島根県精神薄弱者施設保護者会連合会に加入している県内の精神薄弱者施設に入所している者が入院し付添い介護等を必要とする場合に、その費用を保護者又は入所者が共同の責任において負担し、相互に助け合うことを目的とする。」以来 30 年、保護者会連合会から独立した組織となり、さらに幾度かの改正がなされて、順調に運営され、会の目的が果されている。

また、この頃、各地の施設の視察を行ったことも思い出される。平成 3 年倉敷市の「ひまわりの園」、平成 4 年に宇部市「善和園」、平成 5 年「福山六方学園」、平成 8 年に南部町の「祥福園」の視察を行った。新型コロナウイルス感染症が発生する以前の話である。



#### 若幸会家族会（松江市） 安部 進

島根県知的障害者施設保護者会連合会の設立 50 周年おめでとうございます。50 年という歳月を思うとともに諸先輩方の情熱とご尽力に感謝申し上げます。これからの会のますますのご発展を祈念いたします。



#### 光風園家族会（出雲市） 山内 義隆

島根県知的障害者施設保護者会連合会が発足 50 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

この 50 年の歴史の中には、様々なできごとが詰まっており、大きくは介護保険制度に続き、障がい者政策が措置制度から支援制度に移行したことであります。単独では難しい事案でも、連合会で取り組み働きかける連合会の果たす役割が益々重要となってきたと思います。

「ねんねんさいさいはなあいに、さいさいねんねんひとおなじからず。」経年により人が変わっても、障がいを持つ方々が置き去りにされることなく、精一杯、安心、安全で幸せを実感できるように、智恵を出し合っていきたいと思います。

最後になりましたが、本年を節目として、連合会が増々の飛躍と御発展されますことを、祈念致します。



## 太陽の里家族会（出雲市） 安部 広美



島根県知的障害者施設保護者会連合会 50 周年おめでとうございます。

喜和会太陽の里、就労継続 B 型事業と生活介護事業を紹介します。

今年も本格的な夏がやってきました。B 型事業では毎日水分補給や休憩を適度に取り熱中症対策を第一に考えて作業に取り組んでいます。農産班では、玉ねぎの荷が全盛期を迎えています。大きな鉄コンテナに 500 キロもの玉ねぎを調整して出荷しています。

またミックスソースなどの原料になる加工トマトや、出西生姜の収穫も行っています。加工トマトは加工班で選別・調整を行い、大鍋で煮込みます。加工室内もとても暑いですが、みんなで交代して行っています。

猛暑が続く中、生活介護では夏野菜の栽培と収穫に励んでいます。ナスやピーマン、シシトウ、オクラなど定番の野菜がハウスの中で大豊作でした。B 型事業と同じく熱中症に気をつけながら、みんなで頑張って収穫しました。収穫した野菜は太陽の里やグループホームの給食で提供されたり、保育園に持って行き、購入していただいたそうです。大きくなったキュウリの浅漬けやミニトマトをおやつの時間に利用者の皆さんで頂き「また食べたい」「美味しい」と喜びの声があがったとのこと。また、天気の良い日を選んで畑に植えたジャガイモを皆で一斉に収穫しました。大きいのが採れたよ。



## ふたば園家族あゆみ会（出雲市） 持田 義公



保護者会連合会の活動が、50 周年を迎えられたのは、ひとえに施設の職員の皆様、家族会の会員の皆様、連合会の活動にご支援ご協力をいただいた多数の方々のおかげと深く感謝を申しあげます。

私は、約 6 年前より、ふたば園家族あゆみ会の役員をさせていただいてきたおかげで、一會員の時には、我が子を取り巻く環境を知ることや今後の取り組みについての関心は薄かったのが研修会、委員会に参加・出席したことで「我が子・兄弟・姉妹の当たり前で幸せな暮らし」を守っていくには、親・兄弟・姉妹が団結して声をあげていくことが重要であることを学びました。現状の世の中、健常者も暮らしにくくなっています。ましてや、障がい者が、普通の暮らし＝機嫌よく暮らしていく為には、さらに良い制度作り、環境作りが大切です。その為に施設職員の皆様、家族会の会員の皆様、連合会の活動を支援して下さる方々と協力して微力ではありますが、精一杯尽力してまいります。

美野園家族会（出雲市） 飯田 明



この度の本会発足 50 周年誠におめでとうございます。

諸先輩や施設関係の皆様は大変なご苦勞をされてきた事と拝察申し上げます。障害を持つ我が子に親が出来る事は少なく、施設等の皆様などのご理解ご協力無くしては、本人の人生はもちろん親たちの人生も辛いものとなるでしょう。また同じ境遇の家族同士が集まって話し合ったり、研修会で学んだりする事で分かち合う体験は私達の助けになると思います。どうかこれからも本会が益々発展しますように祈っております。



希望の里保護者会（益田市） 林 光明



「島根県知的障害者施設保護者会連合会」50 周年誠におめでとうございます。

さて、昨今では長年地域の皆様の多大なご協力で開催されていた「和歌神の森フェスタ」のような地域密着型の活動や保護者会の活動そのものができにくい状況にあります。

これは、新型コロナウイルス感染症の流行、施設職員の不足、利用者や保護者の高齢化、障がいの重度化など、多くの要因が影響していることは否みませんが、非常に残念な思いであります。

今後は、小規模でもみんなが集まって、楽しいひと時が過ごせ、地域の皆さんとも何らかの交流ができるような保護者会活動が再開できればと、切に願っています。



清風園家族会（大田市） 福間 正人



島根県知的障害者施設保護者会連合会 設立 50 周年お祝い申し上げます。

これまで、半世紀という長きにわたり連合会として知的障害者施設の利用者のよりよい生活が保てるよう、多岐にわたりご尽力されたことに深く感謝いたします。

これから先、知的障がい者にとっても難しい時代になってくると思いますが、発生する問題解決に尽力され、島根県知的障害者施設保護者会連合会が、これまで以上に発展されますことを祈念いたします。



せいあん会（江津市） 串崎 昭徳

島根県知的障害者施設保護者会連合会の 50 周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。

この 50 年間、私たちは子どもたちの権利や福祉の向上に向け、共に歩んできました。地域の皆様との連携を深め、支援の輪を広げることで、多くの成果を収めることができました。

今後も、障がい者が自立し、地域で活躍できる社会を目指して、さらに努力を重ねていく所存です。

感謝の気持ちを胸に、未来へ向けた一步を共に踏み出しましょう。



仁寿会家族会（雲南市） 原 健治

島根県知的障害者施設保護者会連合会 50 周年おめでとうございます。

私が入会したのは今から 30 年前、当時は入居者も若く人数も 150 人を超えていました。当然、家族会の活動も活発で他の施設の見学、一泊旅行、国内行事等で、皆様と時には涙を流しながら活発な討論をしたことを覚えています。時代の流れでその間、障害者支援制度も色々変わり活発だった家族会の活動も高齢化、コロナウィルスの感染拡大、認定制度区分と重なり、ここ数年総会は書面決議、行事は施設利用者と職員のみで行われてきました。やっとコロナウィルス感染症の 5 類移行を受けて総会、奉仕作業を再開出来るようになりました。今後各事業を以前のように出来るよう、人数は少なくなりましたが頑張っていこうと思っています。



愛香園信和会（邑南町） 高野 啓子

令和 6 年 6 月 23 日の理事会の際、令和 6 年度「知事要望」にむけた要望事項についてグループ討議された時、以前より要望を続けても実現出来ない事案についてはどうするべきかという発言があり、賛否両論ではありましたが、ある理事の方が、「要望し続けなければそれで終わってしまうので、要望するべき」と言われ、その時安易に考えている自分に気づかされ、反省しました。

今、思うのは、50 年間も家族会で声をあげ続けられているからこそ、今の家族会があるのではないかということと同時に感謝でいっぱいです。先人の方の研鑽をこれからも続ける為に、自分に出来る事をしなければと思いました。



### くろみ祈幸会（邑南町） 岸水 宜明



島根県知的障害者施設保護者会連合会創立 50 周年を迎えて本当におめでとうございます。

発足当時から現在に至るまでの歩みの中で関係された方々のご苦勞に感謝し、親の「子供の将来への想いを相互に理解し助け合うための体制」が充実してきました。

これからも以前にも増してこの会が発展・充実していくことを願ってやみません。



### 緑風園家族会（邑南町） 土佐 典照



広島県境の山間地に居住しています。田舎ですが近場のショッピングセンターに出かけると、介護者を同伴されている方や車椅子の方が買い物を楽しんでいる姿が日常の風景となりました。またバリアフリー化も進みました。子供が生まれた 30 年前ころは外出した先で洋式トイレ探しのために右往左往していましたが、現在はかなり進歩したと思えます。また人権研修は、私が退職した職場では年に 2 回以上行われています。今後さらにハード、ソフト両面で SDGs が、地域全体で進展するよう願っています。ところで今年のパリパラリンピックですが、選手にベテランが多いように思えます。スポーツでも新たな才能、若い選手が登場するように、すそ野が広がることを期待しています。



### 仁万の里保護者会（隠岐の島町） 高梨 耕二



島根県知的障害者施設保護者会連合会 50 周年を迎えるにあたり心よりお祝い申し上げます。

我々仁万の里保護者会は当時離島という環境の中、限られた情報等しかなく、連合会の研修やさまざまな行事に参加させていただくことで多くのことを学ばせていただきました。

今後とも地域の障がい福祉にご尽力いただき、また連合会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

### 編集後記

このたびの 50 周年特別号を発行するにあたり、祝辞をいただきました方々をはじめ、ご寄稿いただいた各保護者会（家族会）の皆様方に御礼申し上げます。

また、元会長である山根基氏にも数々の資料提供とご助力をいただきました。

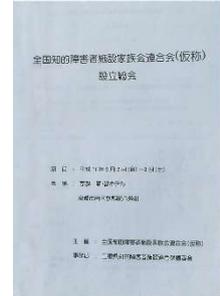
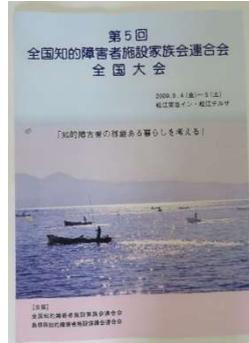
皆様のおかげをもちまして今号の発行ができました。誠にありがとうございました。

## 島根県知的障害者施設保護者会連合会 & 社会情勢年表

- 本会の出来事
- 取り巻く情勢



諸活動の記録



H21年 全施連第5回全国大会（島根県）の様子と資料

全施連  
設立総会資料



H29年 第59回中国四国地区知的障害  
関係施設職員研究協議会 共催



R2年 島根県との意見交換会



R5年 島根県議会議員有志との意見交換会



R6年 設立50周年記念研修会